

# 平成25年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

## 1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的な目標)	指標名	利用者人数 (単位: 人)	
	指標の意味	講座・イベント+貸館+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	193,500	今年度の実績値 190,493

## 2. 利用状況

利用状況等の推移		H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)
	来館者数(人)		337,586	388,244	383,659	390,441	407,529	177,179
貸し室稼働率(%)		39	44	46	46	46	43	46
講座開催回数(回)		630	937	917	973	944	454	919
講座参加者数(人)		18,879	42,692	42,282	45,302	43,766	17,592	41,445

H17年度は、指定管理者制度未導入。

## 3. 管理経費等

平成25年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	111,849	指定管理委託料	111,849
	利用料金収入	56,404	利用料金収入	55,080
	事業収入（講座料収入等）	13,197	事業収入（講座料収入等）	14,507
	その他	241	その他	236
	合計	181,691	合計	181,672
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	31,734	人件費	32,215
	維持管理経費	47,441	維持管理経費	46,951
	事業等経費	15,263	事業等経費	14,257
	フィットネス事業経費	87,253	フィットネス事業経費	86,654
	合計	181,691	合計	180,077
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	1,595

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担） <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入		2,055	2,078	2,071	2,048	2,146
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	-
市の支出		113,363	108,789	108,922	107,897	113,704	-
(内、指定管理委託料)		110,083	108,147	107,905	106,861	111,849	-
実質経費（歳出 - 歳入）		111,308	106,711	106,851	105,849	111,558	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	( 具体的内容 )	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化した施設・設備の維持管理について、利用者の利便性と費用対効果のバランスをはかりながら、臨機応変に対応している。	A	協定書・仕様書に基づき、適切な管理業務を行い、利用者の意見を反映した運営を行った結果、利用者満足度も好評である。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営の実務経験が長いスタッフを配置。	A	施設の設置目的を達成するため、事業・運営に必要な研修や人員配置を行っている。
職員研修は、計画どおり実施しているか。	A	研修、館外連携等の業務スキル向上の取り組みも行った。	A			
防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B			
防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	消防訓練を実施(7月・12月)	B	緊急連絡体制と定期的な消防訓練がなされている。	
	避難訓練を実施しているか。	B		B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	既存ニーズへの対応と、常に新しいニーズの創出を目的とした講座やサービスの提供に努めている。	B	目標の利用者人数には届かないものの、独自アンケートによるニーズの把握と反映を行い、利用者増の取組を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民参画サポートを軸に幅広く生涯学習事業を展開した。	A	現代的課題や地域連携事業など、施策に沿った事業を推進している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行っている。	B	伊丹市情報公開条例等を遵守した適切な管理や、財団の特長を活かした広報活動を行っている。	
	利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B				
	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A		
収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	フィットネス事業収入に改善が見られた。	B	多様化する利用者の要望に応えながらも、収支のバランスを取り運営している。	
	経理処理は、適切に行っているか。	B		B		

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	フィットネス事業は10年以上会員が減少傾向だったが、12年ぶりに会員が増加し事業が改善傾向にある。また、貸館は利用者の増加が見られるが、イベント等の参加者人数は減少が見られる。今後は、利用者が比較的少ない時間帯への利用促進が必要であるものの、生涯学習センターの設置目的と市総合計画等の施策の趣旨を踏まえた効果的・効率的な管理運営を行っている。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

#### 利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成26年 3月1日 ~ 平成26年 3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。 「はい」94%	今後も現在の状態を維持し、利用者から指摘があった場合には、早急に対応している。
	・職員の接遇態度はいかがですか。 「とても良い」40% 「良い」49%	「とても良い」と言っていただけの方を増やす接遇態度を目指す。
回答者数		
111	(自由記述) ・フィットネスが昼間は、高齢者でいっぱいである。	会員の高齢化に伴い、利用者が日中に集中している傾向にあるので、利用者が分散するようプログラムのタイムスケジュールの調整や、夕方以降の利用の推奨等の対策を講じている。

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
今後も継続的なフィットネス会員拡充に努めること。	登録者増加に効果があったと思われるフィットネス体験講座等の入会サポートを継続してさらなる利用者の拡充に努める。